

知らなきゃ損

作画工数もPro-faceが**簡単**削減

# もったいないですよ！画面データ その都度作り直していませんか？

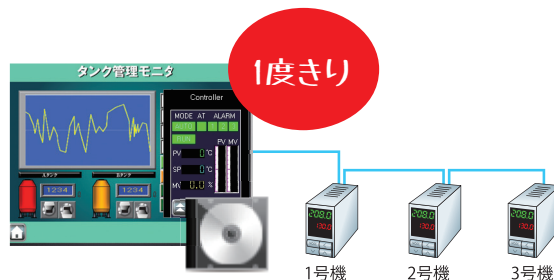
作画データ資産化のご提案

## 現状

画面データは、案件ごとに作り直すのが、基本。  
操作画面は似たり寄ったりだが、制御機器のメーカーが違ったり、台数も違うので、使いまわすなんて考えていない。



タンク管理モニタの画面、前に作ったことがあったな。でも、機器構成も違うし、一から作成したほうが早い。

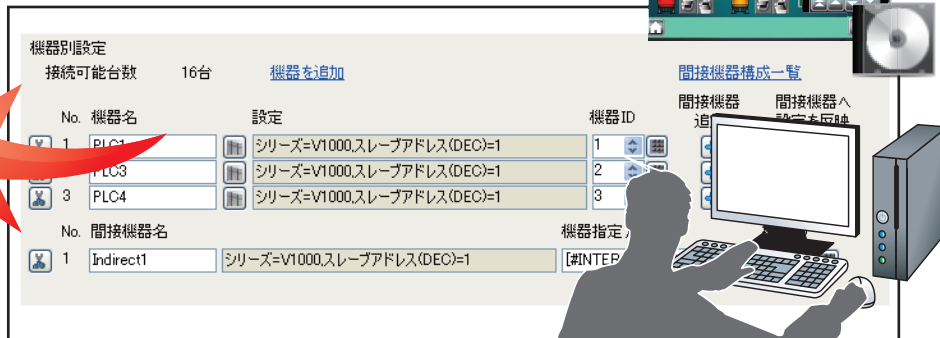
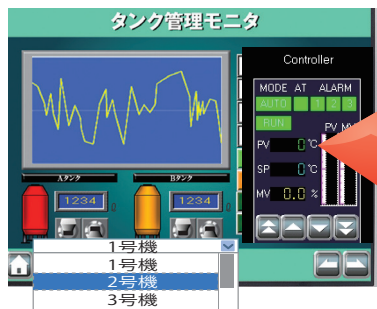


## ご提案

そんなあなたに、おすすめです！  
**新規に画面作成する必要なし！**  
作成した画面データは、次回の案件で流用できます。

画面作成&ロジックプログラムソフトウェア「GP-Pro EX Ver.2.7」を使用すれば、簡単に作画データの資産管理ができるので、その都度作り直す必要はありません。  
**制御機器メーカーの追加も、台数の変更も簡単に変更できる。**  
**だから、作画データを資産化できる！**

## いろいろ活用



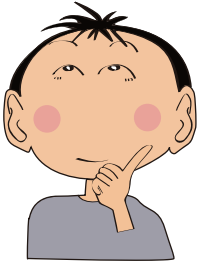
**接続機器設定で、機器を追加をするだけ**

作画データ資産化のあるある話は・・・裏面で

あ る あ る 話

作 画 デ ー タ 資 産 化 編

盤設計のことなら、  
たれにも負たくありません！



制御盤メーカ  
設計担当  
毛屋様(仮名)/大阪府

短納期、低コストでの案件が多い昨今…。  
少しでも工数削減して、スピードアップとコストダウンができればいいけれど。  
今回は、作画資産データの活用を実現された事例をご紹介します。

今の作画方法を変えるなんて、ムリ。  
だって、「やり方を変えたら品質が落ちる」は常識でしょ？

最近、もっぱら少ない予算で、無理な納期の案件が多いんです。  
工数削減のテクニックを情報収集してみたりしているんですが、いざ、実際に作画する時に  
そのテクニックを使うかっていうと、あんまり使っていないんです。  
だって、「やり方を変えたら品質が落ちる」。今の作画方法を変えるの…？

こんなに簡単に、データって流用できるんですね。  
これなら、データ資産を管理して、どんどん活用できる。


そんな時に、デジタルの営業から、「GP-Pro EX Ver.2.7」を紹介してもらったんです。  
最初は、あまり乗り気ではなく、聞いていたんですが、デモを見てびっくり。  
ベースの操作画面があれば、機器が増えても、ボタン一発でOK！ 本当に、簡単にデータを流用できるんです。  
すぐに、バージョンアップしました。今では、空いた時間に、新たな機能設計に時間をさけるようになりました。  
そのデータもちろん、流用しています。

## 作画資産の活用が簡単にできる！ Pro-faceの製品をご紹介します

Screen Editor

# GP-Pro EX Ver. 2.7

画面作成&ロジックプログラムソフトウェア



より簡単に、より便利に、  
Pro-face  
HMI ソフトウェア  
GP-Pro EX がさらに  
進化しました。

2011年4月アップグレードサービス開始!!

- ◎手軽に映像活用
- ◎作画効率がさらに向上
- ◎海外使用に柔軟対応
- ◎画面資産流用がより簡単に
- ◎最新機種に対応

### プログラマブル表示器 GP3000シリーズ

映像の録画・再生でリアルな“見える化”を可能にしたマルチメディアクラス



Video-in

Sound-in

イーサネット

シリアル

USB

通信ユニット

画像ユニット

CFカード

“Camera-Viewer EX” (別途ライセンス)で  
より動画活用ができるようになりました。

- ◎装置の状況を録画し  
エラー要因が解析できる
- ◎作業やメンテナンスなど  
動画でわかりやすく  
指示ができる

●Pro-faceは、株式会社デジタルの日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、その他の国における登録商標です。●その他、本誌に記載している他社登録商標は、本誌掲載製品を紹介する目的のみの使用であり、商標権を侵害する意図があるものではありません。

